

大規模農業経営をめざして

取組主体 ・ 農業法人 有限会社 米作

地区名 ・ たらのき代天狗山地区

解消面積 ・ 58.8ha

取組年次 ・ 平成18～25年

解消内容 ・ 野菜作付(枝豆、赤カブ、にんじん、アスパラガスなど)

放棄の理由 ・ 肉用牛価格の低下、農業経営の行き詰まりなど

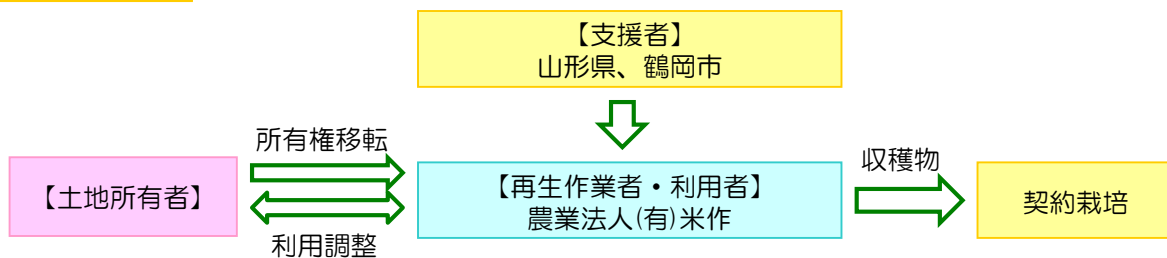
取組のきっかけ ・ 農業経営に困窮した農家等からの働きかけ

荒廃の程度 ・ 雑草の繁茂、雑木が侵入し原野化

取組の概要

- 農業法人有限会社米作は、平成2年に設立され、平成18年度に認定農業者となりました。現在農業従事者は8名です。
- 昭和42年に県営装置開発事業により造成された150haの農地のうち耕作放棄地化していた64haを取得し、これまでに23.2haについて自助努力による再生作業を行い、枝豆、赤カブ、にんじん、アスパラガス、かぼちゃ及びニンニク等を生産しています。平成22年にはさらに22.6haの再生を進め、自助努力による伐採・抜根、重機による整地等を実施し、更に、石礫除去、整地、深耕及び土壌改良を行いました。
- 平成24～25年には、13haについて被災者営農継続支援耕作放棄地活用事業により荒廃農地の再生に取組みました。
- 将来的には、大規模農地を活かした穀類・園芸作物等によるブロックローテーションを行うと共に、全国的な販路開拓・確保を図っていく考えです。
- 映画のロケ地として活用、標高600mを活かした特産品の開発、園芸作物の契約栽培、生産物の加工、金融機関の仲介による全国的な販路の開拓・確保など、先進的な取り組みを行っています。

取組体制



きっかけは？

県営パイロット事業地区での農業経営に行き詰まった農家等から、当該農地と債務の引き受けを再三懇願され、まとまりのある耕作放棄地であることもあり、一大決起した地元の建設会社が農業法人を設立し、新規に農業参入しました。

活用した支援策

- 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金（国）（H22～）
- 農林水産業創意工夫プロジェクト支援事業（県）（H22～）
- 庄内生き生きファームづくり総合支援事業（県）（H22）
- 鶴岡市先導的農業組織等育成事業（市）（H22）

課題と解決

引き受け
手確保

・耕作放棄地の活用に向け、地元の建設会社が農業法人を設立し、新規に農業参入しました。

利用調整

・(有)米作が自ら土地所有者と土地取得の調整を行いました。

再生作業

・(有)米作が自ら再生作業を実施しました。
・24haについては国の耕作放棄地再生利用緊急対策や県単事業を活用しました。

導入作物

・枝豆、赤カブ、にんじん、アスパラガス、かぼちゃ及びニンニクなど。

販路

・契約栽培

取組の成果

- 耕作放棄地の再生利用を図ることにより、農業が抱える諸問題(農業従事者の高齢化、継承者不足、経営の効率化、地元雇用等)打開の一助になればと取組を開始、先ずは畑一面を菜の花で埋め尽くす取組も行いたい。【農業法人有限会社米作】
- 今後も各地での実践事例などの情報提供を行いながら、耕作放棄地解消に向けた取組を推進していきたい。【鶴岡市】
- 耕作放棄地の大規模再生の事例として、併せて独自のルートで販路を開拓するなど、企業の農業参入のモデル事例としても注目しています。【県】

解消状況

再生中



再生後



月山山麓だだちゃ豆



赤かぶ



人参

連絡先：山形県庄内総合支庁産業経済部農村計画課（電話番号：0235-66-5545）